

令和7年度第3回宝達志水町社会教育委員会議録

開催日時 令和8年3月23日（月）

会議場所 宝達志水町生涯学習センター 2階 第一会議室

出席者

〈社会教育委員〉

出席委員 向瀬議長、美作副議長、池田委員、村上委員、木村委員、松田委員、
宮城委員、源野委員

〈事務局〉 細江教育長、松浦生涯学習課課長、瀧平生涯学習課課長補佐、
水内生涯学習課課長補佐、定免公民館長

開 会 午後6時30分

1 開会あいさつ

- ・向瀬議長
- ・細江教育長

2 議件

- (1) 令和7年度宝達志水町社会教育委員活動報告について
- (2) 令和7年度社会教育関係事業報告について
- (3) 令和8年度宝達志水町社会教育委員活動計画（案）について
- (4) 令和8年度社会教育関係事業概要（案）について
- (5) 令和8年度社会教育関係団体への補助金交付に関する意見聴取について
- (6) その他

事務局説明
承認

（委員の意見等）

○（1）令和7年度宝達志水町社会教育委員活動報告について

委員 意見なし

○（2）令和7年度社会教育関係事業報告について

委員 公民館講座の参加者数が、直近3か年に比べ約3倍増加している要因は。

事務局 コロナ禍で自粛していた行事の再開及び開催数が増加したためである。

委員 家庭教育支援チームの活動内容は。

事務局 未就園児を対象とした子育て支援センターのイベント運営を補助している。

○（3）令和8年度宝達志水町社会教育委員活動計画（案）について

委員 グッドマナーキャンペーンの当番は年度当初に決定するが、実施時期（9

月)が数か月先となるため、失念防止のための事前連絡を徹底して欲しい。

事務局
委員

メール等の活用を含め、効果的な周知方法を検討する。

グッドマナーキャンペーンの実施場所について、活動時間中に児童が通行しない場合がある。実施場所の再検討が必要ではないか。

事務局

バス通学の増加等、通学形態の変化も把握している。ご指摘いただいたご意見を参考に、実施場所や時間設定など、より有効かつ柔軟な運用方法を検討したい。

○(4) 令和8年度社会教育関係事業概要(案)について

委員
事務局

令和9年の二十歳の誓いの対象者数は何名程度か。

約100名である。

事務局

仕事なるほど!アカデミー事業の変更点について補足する。次年度は趣向を変え、仕組みをわかりやすく学ぶ金融教育を予定している。

委員

外部講師に民間証券会社を起用することだが、選定理由は。

事務局

児童向け講演の実績や積極的な広報活動を考慮し、十分な対応が可能であると判断した。

委員

中学校の公民の授業等でも外部講師による金融教育を行う例がある。特定事業者の宣伝に偏ることのないよう、事前に内容を十分に精査し、内容を把握しておく必要がある。

事務局

ご指摘を重んじ、慎重に準備を進めていく。

○(5) 令和8年度社会教育関係団体への補助金交付に関する意見聴取について

委員

各団体の補助金一覧を見ると、多岐にわたるが、特定の団体に偏ることなく、情報が適切に周知されているか。

事務局

各事業の要望に基づき、活動実態や必要性を精査している。必ずしも全てが採択されるわけではないが、各担当課を通じた助言や相談対応に努めている。

委員

要望提出の締め切り時期は。

事務局

次年度事業にするには10月末までの要望が必要であり、最終決定は3月となる。事前相談があれば手続きがスムーズに運ぶ。

委員

単発のイベントではなく、継続的な活動に対する補助という認識でよいか。また、活動報告はなされているか。

事務局

継続的な活動への補助が主である。実績報告は必須であり、監査を経て適正な執行を確認している。

○(6) その他

委員 家庭教育支援チームの活動対象は、本来の社会教育の範囲（学童期以降）を超え、保育所や子育て支援センター等の福祉分野に及んでいるが、社会福祉協議会等との連携状況は。

事務局 町では主に子育て応援室と連携を図りながら活動を展開している。出生数が減少する中で、組織の枠組みにとらわれず、切れ目のない支援体制を構築していく必要があると考えている。

4 閉会

・美作副議長あいさつ

午後7時40分 終了